

「踏みしめて」第48号

～町の様子を皆様に伝えていきます～



亀澤 進

台風18号による森町での被害は、床下浸水が6件、道路被害が18件、河川被害が7件、崖崩れが31件、電気被害が100件報告されました。時間雨量50ミリ超という豪雨の影響で、役場庁舎敷地をはじめ、各地で冠水が報告されました。

1週間後に襲来した台風19号の影響が危惧されましたが、思ったより風雨にさらされず、特に被害の報告はありませんでした。

太田川ダム洪水調節は、河川水位を34cm低下することが出来たとのこと。さて、今号は、9月議会の内容を主にご報告いたします。

防犯、省エネ意識の向上！

防犯意識の高まりや、省エネ対策としてのLED照明の普及により、各町内会からの防犯灯設置要望が増えているため、防犯灯設置費補助金104万5千円（22町内47ヵ所分）を追加補正しました。LED防犯灯の設置申請は、補助金をスタートした平成23年度から、91台の実績となります。

山村振興事業

県の中山間地域農業振興整備事業費補助金を活用し、お茶の生産者で構成する天方地区防霜ファン利用組合が行う防霜ファン設置事業に対し、1,056万円が補助されることとなりました。総額の4割が受益者負担となります。

環境への配慮とコスト削減に

石油代替エネルギー施設整備事業補助金として、温室農家が設置する木質ペレットボイラー設置に対し、64万7千円が補助されることとなりました。

☆木質ペレットは丸太、樹皮、枝葉など木質バイオマスを原料につくられます。特に、木材工場から排出する樹皮、おが粉、端材などの残・廃材が有効活用されています。

☆木質ペレットは環境への評価が高い燃料です。その理由としては、ペレットが再生可能なエネルギーであること、二酸化炭素排出量についてカーボンニュートラル（二酸化炭素中立性）であること、そして国内でエネルギー生産ができるようになると、森林・林業を活性化することがあげられます。

☆石油が高騰している現在、近隣にペレット工場があれば、木質ペレットの方が割安となります。

水痘ワクチンの予防接種定期化！

水痘(水ぼうそう) ワクチンの予防接種が、本年10月1日より、今までの任意接種から定期予防接種に移行され、接種対象者は公費(無料)で接種することができるようになりました。

また、高齢者の肺炎球菌感染症予防接種も定期の予防接種になり、接種対象者は3,000円の自己負担で接種することができるようになりました。

※詳しくは保健福祉課まで 電話85-1800

こどもの安全安心のために

飯田小学校の給食室棟耐震補強工事に2,786万4千円、その実施設計業務委託料に189万7千円、監理業務委託料に119万4千円、計3,095万5千円を補正計上しました。

財源の内786万3千円は、学校施設環境改善交付金として国から受けることとなりました。

幼稚園の駐車場を確保

森幼稚園に隣接している元周智高校教職員住宅跡地(740.1㎡)が、県より払い下げを受けることができる事となったため、森幼稚園駐車場用地として740万1千円で購入する事となりました。

修繕の早期対応！ 森町文化会館

来年度20周年を迎える森町文化会館の空調設備等が老朽化により故障し、また故障していない部分も含め、部品供給のある早期に対応するため、修繕費として329万4千円を補正計上しました。

平成26年度9月補正建設課事業予定箇所一覧

国のがんばる地域交付金の見込み(3,800万円)、防災・安全交付金と社会資本整備総合交付金の見込み以上の内示を受けたため(336万円)、新規及び追加の事業を実施することとなりました。

(単位 千円)

事業名	事業内容	事業費	地区名	財源※
新田赤松線舗装改良工事	舗装工(道路、歩道) L=1,398m	38,000	栄町、大門、西幸町	国 38,000
権現堂線改築工事	道路工 L=115m W=2.5m	8,000	谷中、中川上	
友愛橋修繕工事増額分	橋梁修繕工 L=15.4m W=4.0m	3,600	三倉	国 1,760
新堀川浚渫工事	浚渫工 L=740m	6,500	下飯田、市場	町100%
天宮排水路改修工事増額分	側溝工、舗装工 L=70.4m	6,340	天宮	国 1,600
太田川親水公園四阿設置工事	2連式四阿 A=37.4㎡	9,700	南町	町100%
天宮公園調整池浚渫業務委託	抜根、除草、土砂浚渫	1,117	天宮	
天宮公園園名板等設置工事	園名板、注意看板 各n=1基	600	天宮	

9月補正の建設課事業予定箇所が決まりました。

内容は、いろいろな要因により変更する場合があります。

※財源
 国：国庫補助金
 県：県補助金
 町：町単独
 辺：辺地債
 処：最終処分場地元対策補助金
 財：地元財産区補助金

天浜線新駅のデザインを変更！

国の特別地方交付税(3,150万円)、がんばる地域交付金(2,262万2千円)の活用と、県の9月定例会で補正が可決した天竜浜名湖鉄道森町新駅設置事業費助成金(2,800万円)を受け、踏切誤作動回避のための制御システム、地元対応、資材・労務費の高騰等に対応し、県助成金の条件でもある小京都森町に見合うデザインへの変更等を行うこととなりました。

これにより、1億3,300万円の工事負担金となり、当初1億500万円を予定した町の持ち出しは7,350万円となりました。